



2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月10日

上場会社名 株式会社 ホギメディカル
コード番号 3593 URL <https://www.hogy.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者
四半期報告書提出予定日 未定
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 川久保 秀樹
(氏名) 藤田 泰介
TEL 03-6229-1300
配当支払開始予定日 2024年8月30日

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	9,725	0.5	1,335	2.6	1,405	14.3	1,006	13.6
2024年3月期第1四半期	9,679	2.5	1,302	29.9	1,230	33.3	886	32.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,672百万円 (17.2%) 2024年3月期第1四半期 2,020百万円 (13.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	41.46	
2024年3月期第1四半期	36.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	100,728	87,305	86.7	3,596.37
2024年3月期	100,041	86,120	86.1	3,547.47

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 87,297百万円 2024年3月期 86,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 20.00	円 銭 20.00	円 銭 20.00	円 銭 20.00	円 銭 80.00
2025年3月期	20.00				
2025年3月期(予想)		20.00	20.00	20.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,110	2.9	1,940	18.3	2,030	14.5	1,440	16.9	59.32
通期	40,850	4.5	4,690	12.5	4,800	13.1	3,310	18.0	136.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	25,256,963 株	2024年3月期	25,256,963 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	983,249 株	2024年3月期	982,821 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	24,273,849 株	2024年3月期1Q	24,256,963 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

- ・注記事項(1)には「連結範囲の重要な変更の有無」に関する事項を記載しています。
- ・金融商品取引法の改正により、四半期報告書の提出はありません。
- ・添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー:無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、賃上げ率上昇やインバウンドの増加により回復基調と想定されているものの、歴史的な円安を背景としたインフレ不安が根強く先行き不透明な状況が続いております。一方、企業の設備投資は、良好な収益環境や期待成長率の高まりを背景に拡大傾向が続き、人手不足への対応などの影響から、デジタル化・省人化投資が見込まれるなど内需主導の成長軌道で推移しています。

医療業界におきましては、他業界と同様に人手不足が常態化していることに加え、本年4月から開始された医師の働き方改革への対応が大きな影響を及ぼしております。各医療機関では、行政により定められている労働時間内で勤務できる環境を整備することが求められ、その労務管理の範囲が常勤医師の外勤先まで及ぶなど、医療現場での就労環境の変化への対応が急がれる状況となっております。さらに円安による資源価格の上昇、電力代、輸送・運搬コストの高止まりが続き、病院経営は益々厳しい環境となっております。

このような環境下、当社グループにおきましては、当第1四半期連結累計期間において医療安全とお客様の業務効率化、働き方改革を支援する製品の提案を積極的に展開したことなどにより売上高が伸びました。特に最重要戦略製品である「プレミアムキット」は当第1四半期連結累計期間におきましても売上が拡大しております。この「プレミアムキット」は、術前・術中・術後において発生するお客様の手間を削減するとともに、手術における医療安全が確保できる高付加価値製品であり、発売以降お客様に高いご評価をいただき、堅調に売上を伸ばしている当社の主力製品です。当第1四半期連結累計期間におきましても、プレミアムキットの売上高は大きく拡大いたしました。当該製品への切り替え活動に注力したことから従前のキット製品の売上高が減少いたしました。不織布製品は2023年3月期に実施した一部の価格改定の影響により販売数量が減少する影響が継続したことなどから減収となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,725百万円（前期比0.5%増）となりました。キット製品の売上高は6,486百万円（同2.3%増）となりました。その内、「プレミアムキット（プリスターキットも含む）」の売上高は4,219百万円（同6.5%増）、お客様の手間をより効率化するため内容物の充実が図られている「プレミアムキット」のみの売上高は3,200百万円（同24.8%増）となりました。

売上原価は、2023年4月より稼働を開始した新キット工場のⅡ期工事の減価償却費が減少したものの、円安による輸入材料の高騰などの影響により原価率は2.2%上昇いたしました。販売費及び一般管理費は、全体的に効率的な経費の使用に努めたことから前年同期比で減少いたしました。

この結果、営業利益は1,335百万円（同2.6%増）となりました。また経常利益は前年に発生しました投資事業組合運用損が減少したことなどにより、1,405百万円（同14.3%増）となりました。以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,006百万円（同13.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ686百万円増加し、100,728百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金1,061百万円の増加、棚卸資産258百万円の増加等により1,348百万円増加し44,374百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は、建物及び構築物の減価償却等による258百万円の減少、機械装置及び運搬具の減価償却等による896百万円の減少、P. T. ホギインドネシア工場増築等による建設仮勘定の879百万円の増加等により、253百万円減少し45,459百万円となりました。無形固定資産は、減価償却による55百万円の減少により439百万円となりました。投資その他の資産は、所有する株式の時価評価等による投資有価証券243百万円の減少等により、352百万円減少し10,455百万円となりました。この結果、固定資産は56,354百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ499百万円減少し、13,422百万円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金546百万円の減少、未払費用651百万円の増加、未払法人税等294百万円の増加、引当金370百万円の減少等により、80百万円増加し8,321百万円となりました。固定負債は、長期借入金の返済による499百万円の減少、所有する株式の時価評価等に係る繰延税金負債71百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べて579百万円減少し5,100百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,006百万円の計上による増加、剰余金の配当による485百万円の減少、為替換算調整勘定836百万円の増加、その他有価証券評価差額金167百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べて1,185百万円増加し87,305百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の86.1%から86.7%へ増加いたしました。

(キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより19,742百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,118百万円増加いたしました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を1,402百万円、減価償却費を1,407百万円計上し、仕入債務の減少614百万円、未収消費税等の減少271百万円等がありました。これらの結果、2,558百万円の収入(前年同期は755百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出883百万円等がありました。この結果、768百万円の支出(前年同期は1,608百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出499百万円、配当金の支払485百万円等がありました。これらの結果、986百万円の支出(前年同期は936百万円の支出)となりました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、約9,800百万円の収入を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により約5,270百万円の支出を見込んでおります。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済及び配当金の支払い等により約4,000百万円の支出を見込んでおります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内経済におきましては、賃金上昇率が高水準となり消費の回復に期待が高まる一方、依然として資源・原材料価格や、円安基調が継続する状況のなか先行き不透明な状況が続くと想定しています。また、医療業界につきましては、医療機関によっては集患及び手術患者数がコロナ禍以前の水準まで回復していないことに加え、医師の働き方改革への対応や、診療報酬改定による医療従事者の待遇改善の必要性に迫られるなど、厳しい経営状況におかれております。

こうした状況下、当社は、お客様が抱える課題の解決に貢献するための提案活動を積極的に行ってまいります。特に、最重要戦略製品である「プレミアムキット」については、従前のキット製品からの切り替え活動と同時に、更なる新規獲得活動に積極的に注力してまいります。積極的な販促活動を通じて、医療安全を確保しながら、厳しい環境で就労されているお客様の業務負荷を徹底的に削減してまいります。

海外事業におきましては、シンガポールにある販売子会社のホギメディカルアジアパシフィックPTE. LTD. 及びインドネシアの販売孫会社P. T. ホギメディカルセールスインドネシアが、シンガポール及びインドネシアを中心にASEAN(東南アジア諸国連合)各国の基幹病院への製品導入を積極的に展開してまいります。

製造原価におきましては、2023年4月より稼働いたしました新キット工場Ⅱ期の投資に伴う償却費が減少する一方、継続的な円安の進行による輸入材料の高騰により、総額では上昇を見込んでおります。引き続きコスト削減や生産性の改善など原価低減のための企業努力を継続しつつ、製造子会社であるP. T. ホギインドネシアにおいても、生産性の改善に取り組み原価低減を目指してまいります。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は、期初の計画通り以下のとおりであります。

(連結業績予想)

売 上 高	40,850百万円	(前期比 4.5%増)
営 業 利 益	4,690百万円	(前期比 12.5%増)
経 常 利 益	4,800百万円	(前期比 13.1%増)
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	3,310百万円	(前期比 18.0%増)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,419	20,481
受取手形及び売掛金	8,459	8,324
電子記録債権	4,307	4,527
商品及び製品	4,502	4,816
仕掛品	390	425
原材料及び貯蔵品	4,563	4,474
その他	1,382	1,325
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	43,025	44,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,534	19,276
機械装置及び運搬具（純額）	14,726	13,829
土地	9,728	9,766
建設仮勘定	1,241	2,121
その他（純額）	481	465
有形固定資産合計	45,712	45,459
無形固定資産	495	439
投資その他の資産		
投資有価証券	9,213	8,970
その他	1,602	1,496
貸倒引当金	△8	△11
投資その他の資産合計	10,807	10,455
固定資産合計	57,015	56,354
資産合計	100,041	100,728
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,834	4,288
1年内返済予定の長期借入金	1,999	1,999
未払法人税等	102	396
引当金	534	164
その他	770	1,473
流動負債合計	8,241	8,321
固定負債		
長期借入金	3,669	3,169
退職給付に係る負債	509	525
その他	1,501	1,405
固定負債合計	5,680	5,100
負債合計	13,921	13,422

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,294	8,294
利益剰余金	67,762	68,283
自己株式	△3,217	△3,218
株主資本合計	79,962	80,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,418	3,251
為替換算調整勘定	2,831	3,667
退職給付に係る調整累計額	△101	△104
その他の包括利益累計額合計	6,148	6,814
非支配株主持分	8	8
純資産合計	86,120	87,305
負債純資産合計	100,041	100,728

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	9,679	9,725
売上原価	6,083	6,322
売上総利益	3,595	3,402
販売費及び一般管理費	2,293	2,066
営業利益	1,302	1,335
営業外収益		
受取利息	55	65
受取配当金	17	22
受取賃貸料	20	31
その他	29	9
営業外収益合計	123	128
営業外費用		
支払利息	6	6
為替差損	84	21
投資事業組合運用損	80	1
賃貸収入原価	19	28
その他	4	0
営業外費用合計	195	58
経常利益	1,230	1,405
特別損失		
固定資産廃棄損	0	3
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益	1,229	1,402
法人税等	347	395
四半期純利益	881	1,006
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	886	1,006

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	881	1,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	871	△167
繰延ヘッジ損益	9	—
為替換算調整勘定	249	836
退職給付に係る調整額	6	△3
その他の包括利益合計	1,138	666
四半期包括利益	2,020	1,672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,020	1,672
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,229	1,402
減価償却費	1,637	1,407
受取利息及び受取配当金	△73	△88
支払利息	6	6
投資事業組合運用損益 (△は益)	80	1
為替差損益 (△は益)	44	15
売上債権の増減額 (△は増加)	△357	△16
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△608	△82
仕入債務の増減額 (△は減少)	△322	△614
その他	174	501
小計	1,810	2,533
利息及び配当金の受取額	94	124
利息の支払額	△6	△6
法人税等の支払額	△1,142	△92
営業活動によるキャッシュ・フロー	755	2,558
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,326	△883
無形固定資産の取得による支出	△3	—
その他	△277	115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,608	△768
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△499	△499
自己株式の取得による支出	—	△1
配当金の支払額	△436	△485
財務活動によるキャッシュ・フロー	△936	△986
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	314
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,738	1,118
現金及び現金同等物の期首残高	18,351	18,623
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,612	19,742

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。